

題材名「地しん活動による変化」

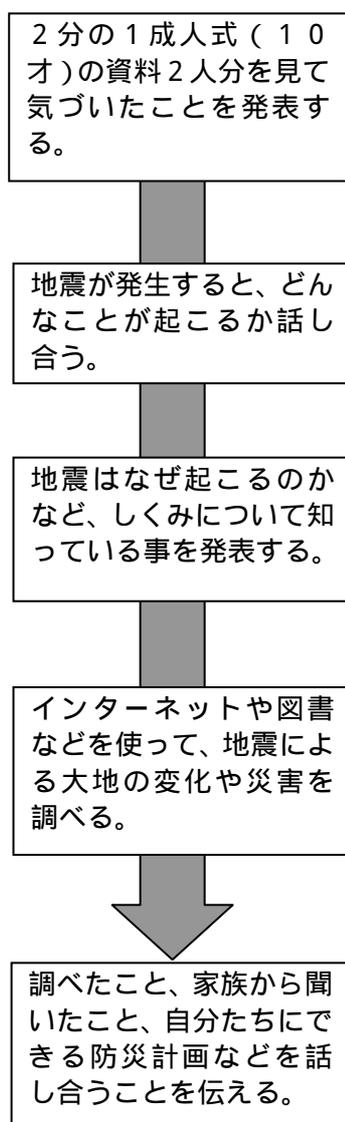
目 標

- ・日本は地震が多い国であるため、土地の変化や災害に関心をもつようにする。
- ・阪神淡路大震災の資料などを活用して、地震による大地の変化や災害を調べるとともに、自分たちでもできる防災対策を考える。

コンピュータを活用する利点

- ・地震の様子やしきみなどについて、基礎的な理解の手助けとして動画を活用することで、容易に理解することができると思う。
- ・多くの事例や説明を活用することで、基本的な学習内容の定着が図れると思う。
- ・大切な資料も情報機器を活用し複製することで、気軽に活用できる。

授業の流れ



ICT活用場面

- ・「2分の1成人式(10才)」の資料A・Bを用意。資料Aは文字と絵の資料、資料Bは写真の入った資料で、A・Bとも阪神淡路大震災を経験した児童の資料であることを伝える。阪神淡路大震災では10才までの写真を始め、様々なものが失われたことを知らせるとともに、Bの写真は本人の数少ない貴重な写真であるが、スキャナーを活用すれば写真などが複製できることを知らせる。

- ・阪神淡路大震災のニュース映像等をプロジェクタで提示する



校区の写真



- ・阪神大震災では、どんな変化がみられたのだろうか。いつ、どこで、どれだけ大きな地震が起きたか地震が起こるしきみについて地震によって、大地はどのように変化するのか

<http://www.e-quakes.pref.shizuoka.jp/why/a-02.htm>

なぜ、地震が発生するのか
校区の災害の様子は
家族の人への聞き取り調査
災害資料の収集

成果と課題

本校独自の阪神淡路大震災の資料は散逸してしまっているため、保護者を始め地域の方にもお願いし、校区の阪神淡路大震災の記録をデータベース化できるように、今後も継続的に取り組みたい。

ICT活用環境等

使用周辺機器	ノートパソコン1台、プロジェクタ スキャナー
使用ソフト名	Internet Explorer
使用教室	普通教室